

留学体験談

プログラム名	SDGs インターンシップ
留学先	ISF （カンボジア プノンペン）
留学期間	2025 年 3 月の 9 日間
学部学科/専攻 学年	バイオ・化学部 環境・応用化学科 2 年

大学生のうちに、日本では見ることのできない途上国のスラムを自分の目で見たいという思いが SDGs インターンシップへの参加を決めた大きな理由です。また、日本では世界トップレベルの教育を受けられる一方で、途上国ではそのような教育を受けることが難しい現実があります。そうした教育格差を肌で感じ、自分の目で確かめたいという思いもありました。

インターンシップで最も印象に残っているのは、ISF での子どもたちとの交流とスラム訪問です。私たちは、ISF に入ってまだ 1 年目の子どもたちと交流を行いました。彼らはとても元気で、明るい笑顔で接してくれ、最初は本当にスラムに住んでいるのか疑ってしまうほどでした。しかし活動を通して、子どもたちが笑顔でいられる理由のひとつが、「将来の厳しさをまだ知らないから」ということを聞き、胸が痛くなりました。実際に子どもたちが暮らしているスラムにも訪問しました。悪環境下でその日暮らしをしている様子を目の当たりにし、学校での生活との差異に衝撃を受けました。

カンボジアを訪れて、私の中で途上国のイメージが大きく変わりました。想像していたよりも都心部は発展していて驚きましたが、その一方で、貧困層の子どもたちが教育を受けられない現状を目の当たりにしました。この経験を通じ、「教育を受けられるありがたさ」を改めて実感することができました。

